

6月定例会

●会期 6月15日～6月23日(9日間)

補正予算や柏台保育所閉所撤回と存続に関する陳情を可決



6月定例会議案採決(議案第5号)

今回は	
報告	3件
市長提出議案	6件
請願	2件
陳情	2件
議員提出議案	1件

【議案第5号】令和8年度八幡平市一般会計補正予算(第2号)

9521万円の増額補正予算可決

歳入、歳出それぞれ9521万2千円を増額し、総額190億4890万7千円とするもので主な歳出は次のとおりです。

- ▼社会福祉施設整備事業
2039万4千円(増額)
- ▼生活保護扶助費
1481万8千円(増額)

Q 民生費の社会福祉費は、社会福祉施設整備事業の地域介護・福祉空間整備等事業費補助金2039万4千円である。この補助金は、介護施設の防災、減災の改修予算とあるが、市の負担内容、この改修事業は、どのような改修をするのか伺う。

A この補助金は全額が国からの補助となるため、市の負担はない。個別の施設名は回答を控えるが、市内のグループホームと小規模多機能

Q 民生費の生活保護費について、生活保護扶助費1481万8千円の増額補正は、平成25年の最高裁判決を踏まえた金額であると説明があったが、歳入には1111万3千円とある。この差は市の負担となるのか。

A 令和8年の支給分については、国の補助は4分の3で、残りの4分の1が市の負担となる。

Q 教育費の中学校費について、統合中学校建設事業の西根中学校敷地測量業務委託料1146万2千円の増額補正は具体的にどのような内容になるのか。

A 今後予定している基本設計業務において、基本計画時から精度の高い検討ができるように、地形条件などを把握するために実施する測量業務になる。座標値の基準点や現地工作物を含む平面測量といった内容となる。

【請願第1号】八幡平市における大規模風力発電事業に関する住民説明の適正化を求める請願書

風力発電事業の住民説明会適正化を

請願趣旨

(請願者Ⅱ八幡平の自然と人をつなぐ会 山本さとみ他3名) 現在(仮称)鹿角上沼風力発電事業(鹿角市)、(仮称)鹿角東部市民ウィンドファーム事業(鹿角市)をはじめとする大規模風力発電事業が計画中である。しかし、計画地に最も近い田山、兄畑地区において、事業者が開催した説明会への参加者は実質ゼロである。説明会は平日昼間のみ開催で農業従事者・就労者が参加困難な設定であり、多くの地域住民が計画の存在すら知らないまま進んでいる現状は、環境影響評価法が求める住民参加の趣旨を著しく損なうものである。また、計画地近接の花輪鉱山からの有害物質も懸念される。八幡平市長は令和7年に「瀬ノ沢川などへの水質の影響がないこと、および事業化後の景観について関係する住民への説明を行うこと」と意見を提出した。事業の賛

否を問うものではなく、計画の内容リスクなどを知り、意見を述べる機会を公平に保障することを求める。

▼総務教育常任委員会の審査結果

不採択とすべきものと決定

本請願は、大規模風力発電事業の実施にあたって、住民説明会の適正化を求めることを主旨とするものである。常任委員会として、事業進捗に伴う不安から、より丁寧な説明を求めるという請願者の心情や懸念には一定の理解を示すものである。しかしながら、「説明会の参加者が6名という実績があること」「説明会は日曜日に開催したという実績があること」など、請願内容の一部に事実との相違や記述の不備が見受けられたところである。また、現段階において「市内での事業実施が確定されていないこと」「事業実施にあたっての調査段階であること」から、今後、事業が具体化され実施される過程に至れば、法手続き上の説明会開催が求められる。これらを総合的に勘案した結果、本請願を採択することとは困難であると考ええる。

■本会議決議結果 不採択

【請願第2号】免税軽油制度の継続要望に関する請願書

本市基幹産業へ悪影響を及ぼす懸念

請願趣旨

(請願者Ⅱ(株)岩手ホテルアンドリゾート代表取締役CEO 黄思麗他1名) 冬季観光産業の重要な柱であるスキー場産業の発展に貢献してきた軽油引取税の課税免除の特例措置が、令和9年3月末で廃止される状況にある。この制度は、道路を走らない機械に使う軽油を免除する制度で、船舶、鉄道、農林業など、幅広い事業の動力源の用途に認められてきたものであり、この制度がなくなれば索道事業者は大きな負担増を強いられ、経営維持が困難となり、地域経済にも計り知れない影響を与えることになる。国へ意見書提出を請願する。

▼産業民生常任委員会の審査結果

採択すべきものと決定

免税軽油制度の廃止によって、スキー場産業にとどまらず、本市の基幹産業である農林業や観光業

能事業所を含めて、3カ所を予定している。内容については、エアコンの設置と非常用電源の設置を予定している。

Q 民生費の生活保護費について、生活保護扶助費1481万8千円の増額補正は、平成25年の最高裁判決を踏まえた金額であると説明があったが、歳入には1111万3千円とある。この差は市の負担となるのか。

A 令和8年の支給分については、国の補助は4分の3で、残りの4分の1が市の負担となる。

などの経営にも大きな負担増を強いることとなり、地域経済へ計り知れない悪影響を及ぼすことが懸念される。

■本会議決議結果 採択

【陳情第2号】岩手ホテルアンドリゾートに関する陳情書

安全保障など条例による規制整備を

陳情趣旨

(陳情者Ⅱ吉岡貢) 安比総合開発(第三セクター) 当時(昭和50年代から平成20年代のころ)に取得した市内の土地の範囲を公表するとともに、外資系法人(親会社を含む)による土地利用が地域の安全保障・環境・景観・水資源に影響を与える可能性を踏まえ、条例による規制整備を求める。

▼産業民生常任委員会の審査結果

不採択とすべきものと決定

安比総合開発(株)が取得した市内の土地の範囲の公表は、企業の正当な利益を害するおそれがない

▼産業民生常任委員会の審査結果

採択すべきものと決定

いか見極めが必要。個人情報保護の観点からも配慮が求められる。また、外資系法人による土地利用が地域の安全保障などに影響を与える可能性を踏まえ、条例による規制整備を求めることについては、その懸念は理解できるものの、自治体が単独で外国人の土地取得を制限することは、憲法や法律、国際条約に抵触する可能性が非常に高く、自治体独自の条例制定は困難であり、国の動向や現行制度の内容を把握したうえで、その必要性について検討するべきである。

■本会議決議結果 不採択

【陳情第5号】柏台保育所の閉所撤回と存続に関する陳情書

柏台保育所閉所について十分協議を

陳情趣旨

（陳情者＝柏台保育所をみんなで守る会代表 鈴木瑠美子）柏台保育所の閉所決定について、撤回し同保育所を存続するよう陳情する。

免税軽油制度の継続を国に要望する

免税軽油制度が、地方税法の改正に伴い、令和9年3月末で廃止される状況にある。免税軽油制度は、軽油引取税（1リットルあたり32円10銭）を免除する制度で、農業用機械や鉄道、船舶、製造業、倉庫、港湾での荷役用途車両など道路を使用しない車両、機械燃料用の軽油について免税が認められてきたものである。令和8年4月から暫定税率は廃止となったものの、本則課税（1リットルあたり15円）は継続されることとなる。本市においても、索道事業者が使うスキー場のコース整備のためのグレンデ整備車、人工降雪機、管理車両の軽油について申請に基づき、免税が認められており、大きな援助制度となっていたものである。この制度がなくなれば、索道事業者は大きな負担増を強いられ、スキー場の経営維持が困難になるとともに、当市の地域経済や市民スポーツ振興などにも計り知れない悪影響を与えることとなる。よって国においては、免税軽油制度が継続されるよう強く要望するものである。

令和8年第2回定例会 賛否の分かれた議案の採決結果

議員名 (会派名)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	議決結果
	鈴木 絵美 八 起 会	畠山 峰彦 八 起 会	田村とみ子 八 起 会	山口 朋文 改革推進クラブ	外山 一則 八 起 会	田村 正元 八 起 会	羽沢 寿隆 八 起 会	工藤 多弘 松西会	勝又 安正 八 起 会	北口 功 無会派	渡辺 義光 市民クラブ	工藤 直道 改革推進クラブ	古川 津好 松西会	高橋 悦郎 無会派	高橋 光幸 市民クラブ	工藤 隆一 八 起 会	関 治人 八 起 会	
議案名																		不採択
請願第1号	八幡平市における大規模風力発電事業に関する住民説明の適正化を求める請願書	反対	反対	反対	反対	反対	反対	反対	反対	反対	反対	反対	賛成	賛成	反対	反対	—	

※関治人議長は採決に加わりません

一般質問

質問した事項

勝又 安正 議員（八起会）……………05

- ・安代の森林振興と林業振興について
- ・学校での社会学習への取り組みについて

渡辺 義光 議員（市民クラブ）……………06

- ・郷土芸能の伝承活動と支援について
- ・投票率の向上と主権者教育について

北口 功 議員（無会派）……………06

- ・森林保全と森林バンクの活用について
- ・市政のDX化に伴う高齢者対策について
- ・防災・危機管理について

山口 朋文 議員（改革推進クラブ）……………07

- ・投票率低下と高齢化社会に対応した投票環境整備について
- ・道路区画線の維持管理と交通安全対策について

鈴木 絵美 議員（八起会）……………08

- ・八幡平市交流複合施設「8テラス」の運営体制および市民に親しまれる施設づくりについて
- ・柏台保育所の閉所方針と地域子育て環境の維持について

高橋 悦郎 議員（無会派）……………08

- ・第3次八幡平市総合計画前期基本計画について

工藤 多弘 議員（松西会）……………09

- ・観光振興について
- ・農業振興について

田村 正元 議員（八起会）……………10

- ・子育て支援と学校教育について
- ・社会基盤の維持、整備について
- ・観光振興対策と今後の振興計画について



かつまたやすまさ 勝又安正 議員（八起会）



問 森林環境譲与税を活用した森林施業の推進・森林の適正管理と持続可能な森林経営を推進していく具体的な取り組みは。
市長 森林整備事業費かさ上げ補助、森林経営管理意向調査支援業務委託や大更駅前顔づくり施設木製遊具

購入および木育キャラバン業務委託などに適切に活用し、市の林業振興を図った。
問 自然災害が多発する中山々にある多くの支流、本流に流れ込む川の現状把握と、管理、整備など行われているか。
市長 すべての把握は困難

でパトロールでの情報や市民からの通報などに基づき維持管理などを行っている。
問 「第81回スキー国体」が開催される。ジャンプ場などの危険な木々の早期撤去、確認作業を進めているのか。
市長 大会開催に向け準備を進め、安心、安全な大会

運営に取り組む。
学校での社会学習
問 労働に伴う災害、労働保険、年金や税金など、働く上で必要な知識、労働法制を学ぶ教育についての考えは。
教育長 仕事に対する責任

感や生き方についての考えを深めている。学習指導要領を踏まえ、キャリア教育の充実を図る。
問 若いうちの政治参加に対する理解を深める教育は。
教育長 主権者としての資質、能力を育む教育の充実に努める。



安代中から見る山々

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。